

大項目	中項目	実施設計以降にリスクが発生する可能性のある要因	リスク分担		備考
		基本項目	受注者	発注者	
	⑧その他	災害時の応急復旧、移転・仮移転に伴う施設の性能維持	○		
プロポーザル技術提案	①プロポーザル技術提案	プロポーザルにおける技術提案を実現するために必要な項目	○		
	②人為的なミス	プロポーザルにおける技術提案にミスがあった場合	○		
		提案した工事費に違算・脱漏があった場合	○		
基本設計内容及び要求水準	①実施設計において設定した項目	基本設計内容及び要求水準を実現するために必要な詳細項目	○		
	②要求水準の変更	設計と条件と現状にと大きな差異があることが判明し、受注者から基本設計内容及び要求水準の実現が困難と申し出があり、発注者と受注者が協議により要求水準の変更を合意した場合		○	
		設計と条件と現状にと大きな差異があることが判明し、発注者が基本設計内容及び要求水準の実現が困難と判断し、要求水準の変更を指示した場合		○	
実施設計内容	①人為的なミス	設計のミス、積算の違算・脱漏	○		
	②調査等をもとに設定した項目(有害物質を除く)	受注者が自ら調査を行い設定した内容に変更が必要となった場合	○		
	③各種申請・届出	建築基準法等関係法令およびその他条例に基づく必要な申請図書及び届出の工程調整、遅れが生じた場合の全体工期調整	○		
その他	①法律・基準等の改正	条例や法規の改正による設計変更、基準や指針の改正による設計変更、税制の変更による工事費の変更		○	
	②有害物質	現時点の調査によりないことになっている。実施設計以降に存在が判明した場合		○	
	③汚染土壌	実施設計以降に新たに存在が判明し、処分が必要となった場合	※2	○	
	④社会情勢による部品調達等の遅れ	サプライヤー部品調達等の遅れにおける工事工期の遅延	○		
	⑤受注者による機能向上提案	施設の機能を確保・向上するための受注者からの自主的な変更提案	○		
	⑥発注者による機能向上提案	施設の機能を確保・向上するための発注者からの要求水準の変更提案		○	
	⑦技術の進歩及び変化に伴う技術提案	技術の進歩及び変化に伴う変更提案	○		

※1 異常気象とは、過去5年間の平均値以上の場合とする。

※2 基本設計内容及び要求水準において存在が示されている範囲の処分は工事費に含む

検討確認項目、配布用リスク分担表非表示項目			
リスク発生時期			検討・確認・その他
設計時	施工時	運用時	
◎	◎		
◎			
◎			
◎			
◎			
	◎		
◎	◎		
◎			
◎	◎		
	◎		
◎	◎		
◎	◎		